

29年4月～10月の子ども食堂「すこやかサタディ」の状況

項目	実施事項																																																																				
1 食堂名称	心身共に健康であれば目的に合致する「すこやかサタディ」に決定。																																																																				
2 営業日の設定	第二・第四土曜日 17時～20時で実施。																																																																				
3 開設場所	NPO法人高浜市社会福祉協議会の施設、地域共生型福祉施設「あっぽ」を使用。																																																																				
4 参加料金	子ども無料。一般の大人から300円。																																																																				
5 調理スタッフ	個別にお願いして全11グループが参加頂けた。																																																																				
6 食材費提供	野菜類（JA高取産直）、米（JA高浜）。 お菓子類（マリオン）の無償提供者を確保。																																																																				
7 参加児童・生徒数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>月日 月/2回</th> <th>子ども/大人</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1回</td><td>4月 8日</td><td>4人 (大人19人)</td><td></td></tr> <tr><td>2回</td><td>4月22日</td><td>14人 (大人10人)</td><td></td></tr> <tr><td>3回</td><td>5月13日</td><td>17人 (大人19人)</td><td></td></tr> <tr><td>4回</td><td>5月27日</td><td>18人 (大人12人)</td><td></td></tr> <tr><td>5回</td><td>6月10日</td><td>14人 (大人16人)</td><td></td></tr> <tr><td>6回</td><td>6月24日</td><td>25人 (大人14人)</td><td></td></tr> <tr><td>7回</td><td>7月 8日</td><td>27人 (大人17人)</td><td></td></tr> <tr><td>8回</td><td>7月22日</td><td>11人 (大人14人)</td><td></td></tr> <tr><td>9回</td><td>8月 5日</td><td>17人</td><td>流しそうめん</td></tr> <tr><td>10回</td><td>8月12日</td><td>8人 (大人8人)</td><td></td></tr> <tr><td>11回</td><td>8月20日</td><td>10人</td><td>川まつり</td></tr> <tr><td>12回</td><td>8月26日</td><td>16人 (大人12人)</td><td></td></tr> <tr><td>13回</td><td>9月 9日</td><td>20人 (大人14人)</td><td></td></tr> <tr><td>14回</td><td>9月23日</td><td>13人 (大人18人)</td><td></td></tr> <tr><td>15回</td><td>10月14日</td><td>10人 (大人9人)</td><td></td></tr> <tr><td>16回</td><td>10月28日</td><td>15人 (大人15人)</td><td></td></tr> </tbody> </table>	回数	月日 月/2回	子ども/大人	その他	1回	4月 8日	4人 (大人19人)		2回	4月22日	14人 (大人10人)		3回	5月13日	17人 (大人19人)		4回	5月27日	18人 (大人12人)		5回	6月10日	14人 (大人16人)		6回	6月24日	25人 (大人14人)		7回	7月 8日	27人 (大人17人)		8回	7月22日	11人 (大人14人)		9回	8月 5日	17人	流しそうめん	10回	8月12日	8人 (大人8人)		11回	8月20日	10人	川まつり	12回	8月26日	16人 (大人12人)		13回	9月 9日	20人 (大人14人)		14回	9月23日	13人 (大人18人)		15回	10月14日	10人 (大人9人)		16回	10月28日	15人 (大人15人)	
	回数	月日 月/2回	子ども/大人	その他																																																																	
	1回	4月 8日	4人 (大人19人)																																																																		
	2回	4月22日	14人 (大人10人)																																																																		
	3回	5月13日	17人 (大人19人)																																																																		
	4回	5月27日	18人 (大人12人)																																																																		
	5回	6月10日	14人 (大人16人)																																																																		
	6回	6月24日	25人 (大人14人)																																																																		
	7回	7月 8日	27人 (大人17人)																																																																		
	8回	7月22日	11人 (大人14人)																																																																		
	9回	8月 5日	17人	流しそうめん																																																																	
	10回	8月12日	8人 (大人8人)																																																																		
	11回	8月20日	10人	川まつり																																																																	
	12回	8月26日	16人 (大人12人)																																																																		
	13回	9月 9日	20人 (大人14人)																																																																		
	14回	9月23日	13人 (大人18人)																																																																		
15回	10月14日	10人 (大人9人)																																																																			
16回	10月28日	15人 (大人15人)																																																																			
8 その他	ゲーム、室内軽運動などの様子を見ながら整備する。																																																																				
	衣類、筆記具、自転車等提供者、支援者があることは解ってきた。																																																																				

・学習支援登録者以外での参加者は、小学生3人、中学生1人



「すこやかサタディ」に参加した子どもの声

質 問	回 答
おいしい？	・むちゃおいしいよ。
何がおいしい？	・隣としゃべりながら食べるとおいしいよ。 ・しゃべりながら笑いながらは良いね。 ・皆と一緒に食べるからおいしいし、楽しい。
カラオケはよくするの？	・ほとんどやらない、できない。家がないもの。 ・歌をうたうのが好き。皆でうたうのも好き。うたうとスツキリ。
歌は好き？	・ひとりで歌うのはつまらないけど、皆でやると聞いてくれるから好き。 ・先生たちも歌ってくれておもしろい。
上手だね。声も大きいし。	・こんな大きな声は初めてだよ。
卓球上手にできる？	・上手にできなくてもいいもん。楽しいもん。
時々やるの？	・ここだけだよ。食事の後で遊べるなんてここだけだよ。
ここはどう？	・皆で遊べるのがうれしい。 ・ステップは勉強だけここは遊べる。 ・お菓子くれるのがうれしい。 ・先生や皆でいろんなゲームは楽しい。 ・帰りは送ってもらえるからいつも来れるようになって良かった。
次もここへ来る？	・いつも来ます。毎週土曜日あるといいのに。
ここの食事する場所にあるといいものは？	・皆がいるから、今のままでうれしい。
初めてだけど今までどうして来なかったの？ お母さんはどうしていいよと言わなかったのかな？	・お母さんが行ってもいいよとってくれなかった。 ・自分が知らないからだよ。
皆がこんな事をしたいと思う事があったら 言ってみて。	・クリスマスパーティー、バーベキューを外でやりたい。 ・カラオケ大会で賞品付き！
みんなですてあげられることは何かありますか？ 自分からできる？ なぜか？	・子守ができる ・片付けや掃除、草取り ・言われればできる、人には自分から言えない。 ・やってほしいのかどうかわからないから。
（「あっぽ」の人は）うるさくないですか？	・子ども達の声が聞こえたとおばあちゃんたちもうれしそうな顔になります。

参加した子どもたちの変化

外形面変化（行動を観察して気の付いた事項）

観察項目	立ち上がり当時	6～7ヶ月後の現在	今後の注視点
固定した友人と会話	同学年の固定した仲間の集団でいる事が多い	全員ではないが学年を越えて会話をしている	
子ども以外との交流	必要以外のプライベートなことを避けている	施設利用の老人と会話している、スタッフにも同じ	
カラオケの変化	高校生の独占	中学生の男女も順番入り	
輪投げ、卓球などの遊び	ルールなしの好き勝手	あまり変化はないが片付けを始めた	

子ども食堂運営での変化

<調理>

調理支援の増加・・・当初9団体が11団体、個人支援参加5名。（団体のメンバーへ組み込み）

調理計画・・・・・・・・各団体のメニューなどに相互が留意するなど計画が円滑になってきた。

調理コスト・・・・・・・・一回当たり5,000円の予算を心配したが、参加者が増加してもプロの主婦はへそくりをしている。

<スタッフ>

スタッフの充実・・・子ども送迎、会場清掃、食材引き取り、参加者情報などを色々出来る人が確保できた。

スタッフの活動・・・子どもの会話、ゲーム、カラオケ、などを観察し、交流するところに近づいてきた。

<保護者から>

・お礼方々、娘と一緒に食堂に寄ってみたい気持ちがいっぱいです。が知っている人ばかりで、どうも行きにくいのです、ごめんなさいね、ごめんなさいね。（学習支援登録者以外の保護者の声）

<南部まち協理事会報告>

3カ月毎に報告、理事から内容・今後の推進案、まち協の事業化、市全体への展開など前向きな発言提案が多くなっている。

発言の例、

「子ども食堂とは何なのか？」

「子ども食堂とは子どもの貧困対策なのか？」

「子ども食堂とは大人が行って良いのか？」

「子ども食堂は誰のため、何のためにやるものか？」

「子ども食堂は何を目指すのか？」

⇒

理事会での発言は、子ども食堂開設の核心をとらえた発言ばかりであった。

<現在の課題>

・持ち物、服装、体つき、会話の中から生活困窮家庭の子どもとは思えず、地域住民の目からは特別な支援を必要とする子どもであるかどうかの判断をすることが難しい。

「すこやかサタディ」についての課題と対応

5月13日(土)、9月16日(土)「すこやかサタディ」スタッフより

1. 低学年(小学1~3年)の子どもが参加できない

- (1) 参加の基本条件が、「自分で来場できること」となっている
- (2) 「小さい子どもで友達も居なくて心配、一度会場を見に来て考える」という親もいる
- (3) 「送り迎えは色々な都合もあり約束できない」と言った親もいた
→対象は、小4以上小1~小3は参加する兄弟がいればOK(5月13日検討)
→現在はこの条件で受け入れ

2. 送迎の問題、夜間子どもを1人で出すのは危険 →保護者の送迎が条件

- (1) 各まち協で青パトを使って各地域内の子どもの送迎を考えるのはどうか
- (2) 近くまで数人まとめて送って頂けると安心なのは
→「ステップ」「あすたか」参加者は特例(5月13日検討)
- (3) 送迎して貰える人がいつも同じ方なら、子どもも安堵感が大きいのでは
※可能な限り同じ人が送りをするようにして実施中

3. 夏休みは学校給食が無く昼食が摂れない子どもが心配、夏休み中に特別開催日は出来ないか

- (1) 長期の休みで1ヶ月の間に2回では少ないのではないかと
→増やすのなら毎週土曜日が良いのでは(5月13日検討)
- (2) 学校や地域の行事と差しさわりの無い日を選んで、検討したらどうか(1/週以上)
→夏休みは行事も多く定めた日以外は出来なかった 特別企画の流しそうめんは実行できた

4. 衛生管理の徹底が必要と思う、食中毒に対して心配がある

- (1) 来場時は入口に消毒薬を置き、手の消毒を全員必ずするように決める→実施中
- (2) 遊んだ後、食堂に入る時に手洗いを促す→実施中
- (3) 来場者に体調(腹具合など)を尋ねる
→(1)(2)はやってほしいが(3)は正確には無理(5月13日検討)

5. 貧困者の把握

- (1) ステップから高校へ進学しても受け入れる→すでにステップで周知済み
- (2) 新しい貧困の子どもを見つける方法、ノウハウを取りまとめて活用できると良い
→不登校が先ず考えられるが守秘義務の関係で実施機関までで留まっているのが現状(5月13日検討)
→継続してノウハウの蓄積中

6. 貧困の変動をどう把握するか?

- (1) 現在は貧困であるが、状況の変化などで貧困から開放された時(再婚、就業、高収入)
- (2) 不安定な収入の家庭
→生活保護、就学支援助費受給家庭は実施機関が把握している(5月13日検討)
→今後の課題として検討、対応する

メモ

子ども食堂を公設化→継続できるが規約がうるさい 温かみがない

私設化→息切れしてしまう 担い手にムラがある

→他の子ども食堂を研究して高浜流運営を模索する

遊び道具の管理場所(「あっぱ」から借りる遊び道具の消耗品の管理を含む)

→外の倉庫に置く



貧困対策の核心となる対応の一つである子ども食堂運営に、まち協、地域住民、行政、教育関係者、大学生など様々な人たちが関わっている。子ども食堂設立推進の中心となるのは、どこが担うべきなのか。この活動は地域活性化や大人の意識改革にもつながる重要な課題である。